

初等科

企画課管理用 教 一 D 一 2

推進主体	電算機部・研究部
責任者	ICT活用研究会主任

分類	実施計画	開始年度	完了年度	将来的な継続
教 一 D	ICTを活用した協働学習の推進	令和 4 年度	令和 9 年度	あり(予定)

<b>① 目的・内容</b>
学習院VISION150で示したミッション「たくましい創造力」を育むためには、本質を重視した教育を行うことが不可欠である。そして、自分の考えや立場を明確にした上で相手の考えを聞き、交流し討論して考えをレベルアップさせ、新しいアイデアを創造する学習を目指す。このために教員のICT技術を磨き、よりよい協働学習・効果的な学習をデザインする。 さらに、ICTを協働学習や校外教育に有効に使えるノウハウやアイデアを集め、新しいカリキュラムを作成する。

<b>② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。</b>
ICT教育に関するカリキュラムの作成に際して、講習会の開催、研究会・研修会への教職員の参加、ICT機器の購入、情報推進環境の整備等を行う。

<b>③ ロードマップ</b>							
年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定	ICT活用で協働学習他効果的な学習を行うにはどうしたらよいか研究をする。						
				カリキュラム作成		カリキュラム実施	

<b>④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。</b>							
指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							
2	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
(2022年度) 令和4年度	ICT教育研究のため、機器資料の収集、ICT研修への参加、ソフトの試験的な購入、プログラミングに必要な物品の試験的な購入及びレンタルなど、児童のために購入する前段階で試験的に物品を購入し、教材研究をする。それを、新しいカリキュラム作成に役立てる。	<p>【実施報告】</p> <p>低学年～中学年の児童が扱うことを想定して、視覚的・感覚的に分かりやすく、誰でもかんたんに取り組めるようなプログラミング機材を購入した。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>購入したプログラミング教材の教材研究を行い、対象学年や授業プランの検討へと繋げる。合わせて、中～高学年で扱うプログラミング教材の検討と、それらに合わせた全体的なカリキュラムの構築を進めていくことが必要である。</p>
(2023年度) 令和5年度	ICT教育研究のため、機器資料の収集、ICT研修への参加、ソフトの試験的な購入、プログラミングに必要な物品の試験的な購入及びレンタルなど、児童のために購入する前段階で試験的に物品を購入し、教材研究をする。それを、新しいカリキュラム作成に役立てる(令和4年度と同様)。	<p>【実施報告】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT活用・研究部では、月1回のチャットルーム(対面)を開き、ICT教育研究を含む教育研究に関する研究会を開催した。</li> <li>東京私立初等学校協会主催の3教科(算数・理科・メディア教育)合同研修会に参加して知見を深めた。</li> <li>教員向けに研究促進に関連する物品を購入。</li> </ul> <p>【課題】</p> <p>継続したICT教育研究や機器資料収集の必要がある。</p>
(2024年度) 令和6年度	ICT教育研究のため、機器資料の収集、ICT研修への参加、ソフトの試験的な購入、プログラミングに必要な物品の試験的な購入及びレンタルなど、児童のために購入する前段階で試験的に物品を購入し、教材研究をする。それを、新しいカリキュラム作成に役立てる。	
(2025年度) 令和7年度		
(2026年度) 令和8年度		
(2027年度) 令和9年度		